

「第17回さかい河岸フェスティバル」を開催 (旧菜の花フェスティバル)

利根川河川敷にて、さかい河岸フェスティバル実行委員会（増淵実行委員長）の主催により、今年で17回目となる「さかい河岸フェスティバル（旧菜の花フェスティバル）」を、名称も新たに開催しました。当日は天気にも恵まれ、河川敷は、約1万2千人の来場者で賑わいました。会場では、満開の菜の花の中、さかい4Hクラブによるトラクター遊覧やはしご車体験、セグウェイ試乗、エアポート試乗、熱気球体験、ミニSLや乗馬体験、卵無料配布、ふるさとクーポン抽選会などが行われました。また、町内農家や飲食店等による「菜の花商店街」が店出され、地元産の新鮮野菜や飲食物が販売されました。特設ステージでは、フラダンスや日本舞踊、和太鼓、ダンス等の発表が行われ、来場者の目を楽しませていました。



青空のもと、菜の花を満喫する来場者の皆さん



はしご車体験



子ども達に大人気のサカイタチ



多くの来場者で賑わった菜の花商店街



ミニSLを楽しむ来場者の皆さん

全国小・中学校交通安全ポスターコンクールで 齊藤凜さんが農林水産大臣賞を受賞

猿島小学校3年の齊藤凜さんが「平成30年度第47回JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール」において、農林水産大臣賞を受賞しました。2月1日には、全国共済農業協同組合連合会（JA共済）主催の「書道・交通安全ポスターコンクール」の表彰式が都内で行われました。このコンクールには全国から16万2,262点の応募があり、齊藤さんの作品は、駐車場で遊ぶことの危険性を分かりやすく表現した点が評価され、今回の受賞となりました。また、猿島小は、児童全員がポスターを描き応募するなど、学校全体での取り組みが評価され、学校賞も受賞しています。



報告に来庁した齊藤さん一家



農林水産大臣賞を受賞した作品



齊藤さん愛用の絵の具セット

Voice



猿島小3年 齊藤 凜さん

自動車や遊んでいる子どもがうまく描けて良かったです。表彰式は、緊張したけどうれしかったです。絵を描くときは、顔の色がはみ出さないように、きれいに描くように気をつけてます。

王子コンテナ(株)茨城工場と災害協定を締結 災害時に段ボールベッドを供給

町は、段ボールシート・ケースの製造販売などを手掛ける王子コンテナ(株)茨城工場と災害時における物資供給協定を締結しました。今後、利根川の決壊等の大規模災害が発生した際には、長期の避難生活が想定されることから、段ボールベッドなどの必要物資を供給していただきます。災害は、いつ・どこで・どのように発生するか予想することは困難です。王子コンテナ(株)は、全国で27工場、関東でも8工場が展開し、供給ネットワークが構成されています。段ボール製品は、災害発生時に暖かく、衛生面に優れ、汎用性のある素材として様々な用途で使用されています。



王子コンテナ(株)茨城工場の鹿野谷智志工場長(写真左)

〈段ボールベッドの作り方〉



「荒ぶる自然災害に地域一体で向かい合う」 東京大学大学院片田特任教授による防災講演会

境町中央公民館において、東京大学大学院・片田敏孝特任教授により平成30年度、2回目となる防災講演会が開催されました。町では、防災研究の第一人者である片田特任教授を防災アドバイザーとしてお迎えし、2ヶ年にわたる広域避難の調査研究や「逃げどきマップ」作成時の監修等にご尽力頂いております。講演会では、「荒ぶる自然災害に地域一体で向かい合う」をテーマに自らの命は自ら守る、自主的な広域避難を推奨し、避難意識の改善、広域避難の徹底、「共助」の活性化について講演を行いました。会場に集まった区長等の防災リーダーをはじめとする約420名の住民の方々は、講演会に真剣に耳を傾けていました。



片田特任教授の監修で作成した「逃げどきマップ」



講演を行う片田特任教授



講演を熱心に聞く参加者の皆さん